

平成23年度

一般会計補正予算(第3号)全員賛成で可決 (一般会計補正予算後 154億6,647万6千円)

補正予算6件、条例改正1件、条例関係2件、工事請負契約の変更1件、承認案件1件、市道認定1件、H22年度一般会計・特別会計決算認定7件、報告案件1件、意見書4件

●主な質疑・答弁(平成23年度一般会計補正予算)

Q 神埼ブランド創造「ひし焼酎」製造事業には、高額
の予算(3,774千円)が掛っているが、どの程度を
限度と考えているのか。

A 採算が取れることを狙っている。今コストがどれ位
掛るのか判らないので、多くの量を作ってコストを
どれ位下げられるのか調べたい。

Q ひし焼酎は限定品としてこだわりを重ね、こだわ
ったスタイルを貫いて欲しい。また、販売戦略の決定
を急いだ方がいいと思うが。

A 希少価値を売り物にするということで、最初は500本。
菱の栽培がうまく行けば、次の仕組みに取り組む。



▲菱の実取り



ひし焼酎の製品▶

老人憩いの家



Q 老人憩いの家建替検討委員会の報酬が計上さ
れているが、建替えの検討はどこまで進んで
いるのか。

A 3回委員会を計画。類似施設の視察を重ね、
最終的には11月を目途に答申をお願いしてい
る。

Q 佐賀新聞移動編集局「わがまち未来形」広告は、いつ頃の行事等を取材するのか。

A 取材は予算が可決すれば早速実施する。掲載は1月上旬予定で、今回のPR内容は将来に
向けてのテーマになっている。

Q 西郷保育園の大きな木は、一本も無くなるの
か。移植するという方法は、考えなかったの
か。

A 西郷保育園の木は残したかったが、造園業者に
聞いたら、造成高が高くなるから枯れるの
で残さない方がいいとのことだった。どの程
度の日陰を作ったらいいか、検討したい。周
辺2m真四角くらい掘って、そのまま移植す
れば大丈夫とのことだが、おそらく移植して
も育たないということであった。



西郷保育園改築工事の現場

Q ホームレスの生活保護についての現状は。

A ホームレスの生活保護については、年に1、2回、ホームレスの方をどうにか出来ないかという話があるが、今の生活保護法で対応するには、居住実態をここに住めることで確定し、生活ができるということがないと保護できない。

Q 河川総務費の水路整備事業の選定基準は。

A 今回の2路線については、仁比山地区は周辺の家屋も被害が出ている。小津ヶ里も小学校の通学路ということもあり、公共性が高く費用対効果もあるので選定した。



市道政所倉谷線の工事予定箇所

Q 道路橋梁新設改良事業の市道政所倉谷線の工事ですが、全体計画の一部か。

A 道路橋梁新設改良事業の市道政所倉谷線の工事は、全体計画でこの区間含め393mであり、工事設計が難航しているが360mを設計委託発注中。今回は、33mを計画している。

●主な質疑・答弁(神崎市国民健康保険事業特別会計補正予算 第1号)

Q 国保の基金の積み上げがあるが、今後の基金、国保運営の見通しはどうなっているのか。

A 約6,000万円の基金があるが、医療費の支払いを考えると1億円程度の補正が必要。年度末は基金も厳しい状況になる。

医師確保が課題の脊振診療所

●主な質疑・答弁 神崎市国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1号)

Q 脊振診療所の医師の件は、執行部から説明がなかったがどのようになったのか。

A 医師の確保について6月に県に要望。現在勤務されている医師は3月まで脊振診療所に常勤でいてくれる。H24年4月からは、まだ決まっていない。半日単位で交代になるかも知れない。市としても医師の募集を考えている。

Q 神崎市で医師を育てていく方向も、考えていけないといけないのではないのか。

A 県では2名ずつ学費無料で自治医科大学へ出している。確かに市で医師を育てることも一案だが、採算面や民間の医療との兼ね合いもある。トータルに考えないといけない。



医師確保が課題の脊振診療所